

【教育委員会議事録】平成29年9月定例会

開催日時	平成29年9月28日(木) 15:30~16:24
開催場所	下関市教育センター 3階中研修室
出席委員の氏名	波佐間 清(教育長) 藤井 悦子(教育長職務代理者) 児玉 典彦 林 俊作 松田 まさ子
欠席委員の氏名	欠席なし
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名	<p> 教育部長 萬松 佳行 教育部理事 伊藤 信彦 教育部次長 井上 成人 教育政策課長 藤田 信夫 学校教育課長 木下 満明 教育研修課長 三井 清 学校支援課長 宇都宮 義弘 学校保健給食課長 山野 正俊 教育指導監(生徒指導推進室長) 瀬下 信二 生涯学習課主幹 異儀田 正康 文化財保護課長 沖吉 洋一郎 図書館政策課長 高森 俊明 美術館長 中村 美幸 歴史博物館長 町田 一仁 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 松下 孝幸 下関商業高等学校事務長 冨田 智雄 菊川教育支所長 林 文男 豊田教育支所長 石田 正成 豊浦教育支所長 日吉 克浩 豊北教育支所長 西村 敬教 教育政策課長補佐 岡本 誠也 教育政策課主査 村田 浩樹 教育政策課主任 松富 潤 </p>
傍聴人の数	2人

次第（目次）

【開会の宣告】	P 3
【署名委員の指名】	P 3
【教育長報告】	P 3
【議案審議】	
第48号 下関市立豊北歴史民俗資料館運営協議会委員の委嘱について	P 7
【報告事項】	
平成29年度こども文化パスポート事業の集計結果について	P 7
平成29年度地区文化祭・公民館まつり等について	P 9
下関市立図書館基本計画策定の進捗状況について	P 10
下関市立美術館の開館時間の変更について	P 11
下関市立歴史博物館の開館時間の変更について	P 12
【その他】	P 13
【閉会の宣告】	P 14

【開会の宣告】

波佐間清(教育長)

皆さん、こんにちは。それでは、定刻になりましたので、教育委員会9月定例会を開催をいたします。

【署名委員の指名】

波佐間清(教育長)

本日の議事録の署名は「藤井委員」「児玉委員」をお願いいたします。

本日の日程は、日程1の議案が1件。日程2の報告事項が5件。日程3その他となっております。

【教育長報告】

波佐間清(教育長)

それでは、議案第48号の審議に入る前に教育長報告を行います。お手元の資料の2ページに教育長報告が書いてございます。

9月に入りまして、9月5日から本日28日まで市議会が開催されております。その中で特に、文教厚生委員会が9月6日水曜日、その中で審査「議案第125号 一般会計補正予算」、それと陳情「統廃合された学校のリニューアルについて」、要望書で「フッ化物洗口法への移行について」、「校医手当の増額について」という陳情がございました。また、報告については、そこに書いてあるものについて報告をしたところであります。皆さん方にも審議をいただいております「点検評価報告」、「全国の学力・学習状況調査」、「図書館の基本計画の策定の進捗状況」、「川棚のクスの森」についてということで、樹医さんに見ていただいて対応をしているところであります。その他、「市民と議会のつどいに関する資料」、「委員会の視察について」ということであります。決算委員会が9月13日にありまして、審議をいたしました。本日まで、一般質問において、「図書館政策」、「防災の取り組み」、「受動喫煙防止対策について」、「教育環境の整備 特にトイレの洋式化」、「キャリア教育について」、「学校保健」、「公民館の利用について」、「日本遺産」、「川中中学校の教科センター方式について」、「青年の家」、「廃校、廃園となった市財産の有効利用」、「市長の市政方針について」、特に教育は「日本遺産の生かし方」、それから学校教育の中で「小中一貫教育について」という質問事項がありました。これらについて市教委の考えを回答したというところであります。

それから、9月1日にピッツバーグ市の訪問団が市長表敬をいたしました。市長応接室で対応をして、こちらでいうと副教育長、教育部長さんのような方が団長さんで来られ、中学校の副校長先生、あわせて2名来られて、その後、高校生が5名くらい来られました。教育長室にもご案内をして、大人の方の2人を教育長室でお茶の接待をして、教育についての議論を色々しました。向こうでの様々な課題、特に言語教育、母国語教育とスペイン語の教育、それから移民の問題、それから向こうは学校数が少なく、特に高校は3,000人くらいが1つの学校に行くというような話など色々出てきました。ピッツバーグ市との交流が18年今続いております。来年が20回ということで、記念の20周年をやろうというような話になっているようであります。

それから、次が中学生がピッツバーグに米国派遣の研修に行った報告会が9月の3日にこのセンターでありました。藤井委員さんにも来ていただいて。いつもありがとうございます。それから、ピッツバーグの訪問団の送別式、夕食会。火の山の「海峡の風」、ユースホテルでバーベキューパーティーをやって、送別会をいたしました。

それから、9月9日、10日と2日間、「サイエンス・フェスティバル」がシーモールのセントラルコートで開催されました。山口大学の2回生を中心として、子供達が多く入場し、関わっていただきました。この日の夜は大学生が青年の家に泊まりました。市教委の2人の指導主事、課長補佐、主幹が話をして、教員の卵達ですので、教員としての心構えやこれからの教育について講演をして、その後、懇親会を行いました。山口大学の先生方が、大変、市教委との対応に対し

て感謝をしておられます。

次に、山口県の高等学校の定時制通信制生徒生活体験発表大会、これが9月16日に教育センターであり、素晴らしい体験発表を15人の人が行いました。体験発表も大変素晴らしいもので、彼らが、通信制・定時制に行く背景も我々としては考えさせられるものがありました。学校のいじめにあって、不登校になって行けなくなって、定時制・通信制に行くようになった方など。人それぞれに思いがあり、それを乗り越えて頑張っているという体験発表であります。これの1等賞が全国大会へ行って、東京で発表いたします。彼は大変素晴らしい発表をしてくれると思います。

それから、秋季大運動会の方が9月10日に中学校、18日、24日に小学校があり、私も学校へ行って挨拶をし、子供達を励ましてきました。特に長成中学校の開会式に行って、生徒達の規律正しさ、号令がかかるとピシッとして、背筋が伸び、腰骨が立った素晴らしい開会式を見せていただきました。山の田中学校は応援合戦を見せてもらい、これもまた素晴らしい応援合戦でありました。その他のところも大変良くやっていました。18日は小学校に行きました。また、各委員さんにも運動会での感想がありましたら、この後、ひと言述べていただこうと思います。

それから、9月23日に西日本弓道大会が弓道場でありました。久しぶりに弓道の弓を引っ張ってみましたが、凄い力があるというのを改めて感じました。私自身も中学時代に友達がやっていたので、遊び半分に引いてみましたが、なかなか当たりませんでした。市長さんも弓を引いてみて、凄い力があるんだなあということ、そして、制止をしてじっと待つと、手が震えてくる、そういうのも見せていただきました。

最後に、愛媛国体が間もなく始まりますが、昨日、シーモールであった壮行会で一言激励をしてきました。

最後に給食についてですが、新聞紙上を見ると、全国的に異物混入の記事が多く出ており、牛乳の件もしかり、O-157や髪の毛が入っていたとか、そのようなことが新聞にたくさん出ています。このようなことがあってはいけないことではありますが、この後ご意見があればお聞きをしようと思います。もう1つ気になったのは、給食の完食指導で、先生が本気になって、全部子供達に食べさせようと、食べ終わるまでは遊びに出られなかったり、というような少し行き過ぎた指導ということが、ある市で新聞に出たり、ニュースになったりしていました。そのあたりの対策もしっかりとるように、昨日、指示をしております。委員さんの方で今の給食について、なにかご意見があれば。いかがですか。児玉委員さん。

児玉典彦(教育委員)

給食については、大量に作りますので、ある程度はそういうことが起きるのかなとは思いますが。ただ、子供達の健康に関わることだけは起きないように、虫とか髪の毛とか、そういったことはありうるのかもしれませんが、金属片とかそういうことだけは、是非起きないように注意してもらえればと思います。私が現場にいるときにもそのようなことがありましたけど、特段、下関の学校給食に関しては気になるような異物混入は1件もありませんでしたので、本当に現場の方が一生懸命やってくれているなあ、といつも感心をしていました。以上です。

波佐間清(教育長)

はい。ありがとうございます。藤井委員さん、なにかありますか。

藤井悦子(教育長職務代理者)

今、児玉委員がおっしゃったように、髪の毛や虫の混入は起こりうることだと思います。私は給食ではないのですが、外で食事をした際に、タワシの金属片が混入していたことがありました。金属片が混入していると口の中を切る等の危険があります。給食は子供達が口にしますので、そのような事態にならないように注意していただきたいと思います。

波佐間清(教育長)

はい。林委員さん。

林俊作(教育委員)

最近、この食品の話題というのは、私も醤油屋をやっておりますが、ものすごく世間の目も厳しくなっているし、ちょっとした異物混入でも全品引取という例があります。今後さらに厳しくなってくるだろうということで気を付けないといけないということと、私のところでも最近になって、エアーカーテンを入れたり、色々なことをしています。最近、給食センターあたりは、外のをシャットダウンするような対策ができていると思うんですが、私がおりました小学校は昔のままのような感じでやっているようですが、何かそういうことの対策はありますか。

波佐間清(教育長)

はい、課長。

山野正俊(学校保健給食課長)

学校保健給食課の山野でございます。よろしく申し上げます。お尋ねがございました設備関係のことでございます。林委員さんが言われましたように、給食調理場には古いところが多くございます。古いところにつきましては、網戸の目を細かくするとか、サッシの目張りをするとか、そういう形で対応しております。滝部調理場が下関市内で1番新しい調理場でございます。そちらにおきましては、前室と調理室があるのですが、調理室に入る前はエアーシャワーを浴びて入るようにし、また、エアコンも当然換気をしますので、吸気をする部分から虫が入るとかそういうこともございますので、そういうところにも2重3重の網をする等の対応で、できるだけ除去ができるような形にしております。また、万が一異物混入があった場合も、金属片とかそういう危険物のお話もございますので、発見をした場合は他の教室も確認をし、大量発生してないかどうかを確認したうえで、そのものを除去して配膳をするのか、給食を中止するのか、などの対応を取るようになっております。これまで下関市ではそういう異物混入を原因とした健康被害等は起こっておりません。以上でございます。

林俊作(教育委員)

ありがとうございました。

波佐間清(教育長)

はい、ありがとうございました。それでは、この前の運動会で、行かれて何か感想がございましたら。松田委員さん。

松田まさ子(教育委員)

9月17日の予定だったのですが、台風と雨で18日に延期となった一の宮小学校に行きました。とても天気にも恵まれ、でも涼しい風も吹いていて運動会日和で、子供達も精一杯頑張って競技に励んでいました。以上です。

波佐間清(教育長)

はい。ありがとうございました。はい。藤井委員さん。

藤井悦子(教育長職務代理者)

私は文洋中学校に行ってきました。今年の教育祭で「感動のある学校づくり」という題で、絆と繋がりを大切にしたい学校の取り組みを発表した学校です。校長先生から、今年の体育祭は子供達が準備から運営・進行まで全て行っていると伺いました。確かに子供達の掛け声、行進、競技、全てにおいて一丸となって頑張っている様子が感じ取れ、微笑ましく思いました。また、先生方は表には出て来ていないのですが、陰で子供達を支えている瞬間も垣間見えて本当に感動のある良い体育祭だと思いました。

波佐間清(教育長)

はい。ありがとうございました。では、児玉委員さん。

児玉典彦(教育委員)

私は、豊浦小学校と東部中学校に、運動会、体育祭に行きました。小学生が一生懸命先生の指導に従って、キビキビとやっているのがとても微笑ましかったです。それから、東部中学校では、体育祭の成功に向けて、生徒と教員が本当に一体となって、お互いに励ましあいながらやっているのがとても感動的でした。とても良い体育祭だったと思います。以上です。

波佐間清(教育長)

はい、林委員さん。

林俊作(教育委員)

私も日新中学校と春に文関小学校、今回は垢田小学校に行っただけでしたが、天気も風も涼しくて、今頃の子供は私が思ったのは、運動会を楽しみながらやっているとしました。それと1つ、ピッツバーグの訪問の際は、通訳がいらっしゃるのですか。

波佐間清(教育長)

通訳はおります。

林俊作(教育委員)

子供達や他の教員の先生一人ひとりに通訳がいるのですか。

波佐間清(教育長)

1人です。こちらに訪問に来た時には教育研修課のALT担当の英語の先生にお願いしています。

三井清(教育研修課長)

中学校は英語の先生がいらっしゃるので、そういう面では外国の方が訪問されても対応できるだろうと思います。小学校についても最近の大学から卒業されて入って来られる若い先生方は、我々が最初の当時と比べると、随分ご堪能な方もいらっしゃる。海外を訪れておられる方もいらっしゃるので、随分そういう意味ではネイティブの言葉がわかるというような先生方も小学校についても増えているのではないかとことです。割合としてはわかりませんが、随分増えておられるのではないかと思います。

林俊作(教育委員)

各学校に1人ずつくらい、海外の方が来たらきちんと会話できるような先生がいるのですか。

三井清(教育研修課長)

ALTの担当が小学校にもいますので対応させていただいています。

林俊作(教育委員)

はい、わかりました。

波佐間清(教育長)

ALTだけではなく、オールイングリッシュで勉強をできるだけするようにという、特に中学校ではやっています。それで、小学校の方もこの夏の研修でALTを使ってオールイングリッシュで2日間過ごす、というような研修も企画をして、できるだけ英語が使える先生を養成しよう。それから先日教育祭でありましたが、釜山に行ってさらに磨きをかける、そういう研修も

行っているというのが実情で、最低1人は英語が話せる先生が各学校にいるのが我々の理想であります。特に、高学年の先生は英語ができるだけ堪能になっていかないと、これから英語教育をやっていくのに、非常にそういう面では小学校の先生が今英語に苦慮しているところは確かにありますし、研修でそれを補おうとしているところです。

林俊作(教育委員)

はい、ありがとうございました。

波佐間清(教育長)

それでは、以上で教育長報告を終わりたいと思います。

日程1の議案審議に入りたいと思います。

【議案審議】

議案第48号 下関市立豊北歴史民俗資料館運営協議会委員の委嘱について

波佐間清(教育長)

「議案第48号 下関市立豊北歴史民俗資料館運営協議会委員の委嘱について」、お願いをいたします。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長、お願いします。

松下孝幸(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長)

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムでございます。「議案第48号 下関市立豊北歴史民俗資料館運営協議会委員の委嘱について」ご説明をいたします。資料の5ページをご覧ください。現在の委員が平成29年9月30日に任期満了になりますので、下関市立豊北歴史民俗資料館の設置等に関する条例第16条の規定に基づきまして、別紙の候補者の方に下関市立豊北歴史民俗資料館運営協議会委員を委嘱するものでございます。なお、任期につきましては平成29年10月1日から平成31年9月30日までの2年間となっております。6ページに10名の候補者の方をお示ししておりますが、7名の方が再任で、3名の方が新任となっております。よろしくご審議下さいませようお願いします。

波佐間清(教育長)

はい。ただいまご説明がありましたが、ご質問、ご意見がありましたらお願いをいたします。

(ありません)

波佐間清(教育長)

特に問題ないということなので、議案第48号については承認としてよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

異議なしということですので、承認といたします。

【報告事項】

平成29年度子ども文化パスポート事業の集計結果について

波佐間清(教育長)

引き続き、報告事項に入ります。「平成29年度子ども文化パスポート事業の集計結果について」お願いをいたします。教育政策課。

藤田信夫(教育政策課長)

教育政策課でございます。よろしくお願ひいたします。まず最初に、席上の方に本年度の教育要覧を作成いたしましたので、置かせていただきました。また、ご覧になっていただき、折に触れてご活用いただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、「平成29年度こども文化パスポート事業の集計結果について」ご報告いたします。資料の7ページをお願ひいたします。こども文化パスポート事業の概要につきましては、6月の定例会でご説明を差し上げております。下関市、北九州市、長門市、北九州都市圏域の1市4町の、合計84施設を対象といたしまして、7月21日から8月31日までの42日間、実施をしたところでございます。このうち、市内19施設のパスポート利用者数につきましては、資料の上段の表でございますように、今年度の合計につきましては、6,768人でございます。平成28年度が5,092人でございますので、1,676人の増ということになっております。全体的に増となった主な要因といたしましては、本市の参加施設が2施設、歴史博物館とふくふくこども館が増えたこと、また、子供達の参加意欲向上を図るため、景品プレゼントの充実を図るとともに全施設制覇者に対しまして、「こども文化博士」の認定証を授与するなど、子供達が興味・関心を持てるように工夫をしたこと、こういったことが入場者数が増えた要因ではないかというふうに考えております。資料の下段の表でございます。こちらについては、全施設について、パスポート利用者が多い順に掲載をさせていただいております。この中で、対前年で増となった上位3施設につきましては、中段の表に掲げさせていただいております。1位については海響館で288人の増、2位がリフレッシュパーク豊浦で191人の増、3位が長府毛利邸で190人の増となっております。いずれの施設につきましても夏休み期間中にイベント等が開催されること、こういったものが利用者数の増につながったものではないかというふうに考えております。今後におきましては、北九州市・長門市・北九州都市圏広域行政推進協議会とともに、参加施設からのアンケート等、また利用者の動向を検証した上で、次年度以降の事業に取り組んでいきたいというふうに考えております。報告は以上でございます。

波佐間清(教育長)

ただいま報告がありましたが、何かご質問がありましたら。はい、藤井委員さん。

藤井悦子(教育長職務代理者)

この中で、全施設制覇者は何人いましたか。

藤田信夫(教育政策課長)

全体的にすべての数字は把握しておりませんが、全施設を制覇した場合は、ふじみつ賞を応募ができるようになっておりました。この応募者数が62人いらっしゃるの、少なくともこの方々は全施設制覇者ということになるかと思ひます。

波佐間清(教育長)

商品等はいつ授与するのですか。

藤田信夫(教育政策課長)

手元にございませんで確認します。

波佐間清(教育長)

応募しないといけないんですか。

藤田信夫(教育政策課長)

パスポートについているスタンプを押したものを応募していただくようになっています。

波佐間清(教育長)

これだけの方が全施設制覇したということは凄いことです。夏休みの間に頑張って行かれたと。説明にもありましたように、海響館、リフレッシュパーク、毛利邸はかなりの子供が増加しているので、関心があったのでしょうか。なにか他にご意見等がありますか。はい。

林俊作(教育委員)

ふじみつ賞は、長門市と北九州市も含めて全部の施設を制覇された方が62人いたということですか。

藤田信夫(教育政策課長)

北九州市、下関市、長門市の全施設ということでございます。

林俊作(教育委員)

すべての施設を制覇された方が62人もいる。

藤田信夫(教育政策課長)

集計で全施設対象者が86人ということになっております。そのうち、プレゼントは選択できるようになっておりまして、その中でふじみつ賞に応募したされた方が62名となっています。失礼いたしました。

波佐間清(教育長)

親の協力を得て車で行かないと全施設制覇は難しい。フリーパスのバスがあれば、それを利用しても行けることも大事なことだろうと思います。他にご意見ございますか。はい。

藤田信夫(教育政策課長)

先ほどの表彰の関係でございますが、商品については、北九州市に応募していただき、北九州市より個別に送付されるという事で、授与式等はありません。

波佐間清(教育長)

個別に商品が贈られるという事です。はい、わかりました。ありがとうございました。よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、これは報告済みといたします。

【報告事項】

平成29年度地区文化祭・公民館まつり等について

波佐間清(教育長)

次に「平成29年度地区文化祭・公民館まつり等について」お願いをいたします。生涯学習課。

異儀田正康(生涯学習課主幹)

生涯学習課でございます。よろしくお願ひいたします。資料の8ページをお願いします。報告事項「平成29年度地区文化祭・公民館まつり等について」ご説明いたします。9ページの一覧表をご覧ください。一覧表のとおり、10月以降に、市内の公民館・生涯学習センター・ふれあいセンター・ふれあい会館の各会場で、文化祭、公民館まつり等が開催されます。作品展示や芸能発表など、地域の学校や団体の日頃の活動の成果を是非ご覧いただければと思います。また、

生涯学習プラザの第8回ドリームシップ祭りは、お手元のオレンジ色のチラシのとおり、10月21日22日の土日に開催されますので、あわせてご案内いたします。以上、報告いたします。

波佐間清(教育長)

9ページの一覧のとおり公民館の文化祭がこういう形で行われます。私もかなりの公民館に行くように計画をしています。ドリームシップ祭りの別刷りのチラシがありますので足を運んでいただければ、楽しい映画、スタンプラリー舞台発表などのイベントがあるので紹介をしておきますので、よろしく願いいたします。何か、ご意見がありますか。よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、これについては報告済みといたします。

【報告事項】

下関市立図書館基本計画策定の進捗状況について

波佐間清(教育長)

続きまして、「下関市立図書館基本計画策定の進捗状況について」お願いをいたします。はい、図書館政策課。

高森俊明(図書館政策課長)

図書館政策課でございます。よろしく願いいたします。現在、図書館政策課におきまして、策定作業中であり、下関市立図書館基本計画の策定作業の進捗状況についてご報告いたします。資料の10ページをご参照ください。現在、策定作業をしております図書館基本計画は、平成20年に図書館法の改正によって、図書館の健全な発達を図るための基準を定め、公表することが義務化されました。それが、平成24年の文科省の告示である「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」として施行されているわけでございますが、現在、作業中の図書館基本計画は、この基準に相当するものとして策定をしております。また、この図書館基本計画は、社会教育法に基づいた図書館法、あるいは、文字・活字文化振興法、子どもの読書活動の推進に関する法律等の関係法令に沿って、先ほど申しました文科省の告示の基準を踏まえて策定するものであり、本市の施策体系の中では、「第2次下関市総合計画」及び「下関市教育大綱」を踏まえて、策定するものであります。これまでの進捗状況でございますが、平成26年10月に図書館利用者アンケートを実施しております。そして昨年度、平成28年度11月に図書館運営協議会を開催し、策定スケジュールならびに基本計画の骨子案について報告いたしております。同じく11月に2回目の図書館利用者アンケート調査を実施しております。平成29年8月8日に図書館運営協議会を開催いたしまして、基本計画の原案について審議をいただいたところでございます。また、今後の予定でございますが、10月に2回目の図書館運営協議会を開催し、1回目の協議会でいただいたご意見を基に修正した修正案についてご審議をいただく予定でございます。同じく10月に1カ月間パブリックコメントを実施いたします。そして、11月に3回目の図書館運営協議会を開催し、基本計画の最終案を決定いたします。そして、11月の定例会におきまして議決をいただいたのち、12月に議会に報告をし、公表というスケジュールで考えております。なお、このスケジュールにつきましては、来月開催いたします2回目の図書館運営協議会を除きまして、29年度の点検評価報告書に記載したスケジュールに沿ったものでございます。以上でございます。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま、図書館基本計画についての進捗状況の報告がございました。何かご意見がありましたらお願いします。はい、どうぞ。

松田まさ子(教育委員)

利用者の方にアンケートを2回実施したとありますけれども、その主な内容、2回実施したことの意味、アンケートに基づき何か変わったこととかあれば教えてください。

波佐間清(教育長)

はい、図書館政策課長。

高森俊明(図書館政策課長)

1回目のアンケートは図書館の利用、あるいは、様々な項目に対して満足度を尋ねるものでございます。1回目のアンケートの平成26年度でございますので、指定管理時代にアンケートを実施したものでございます。従いまして、一番大きな中央図書館について、アンケートの回答をほとんど得られなかったという状況でございます。そのため、昨年度2回目のアンケートを実施したわけでございますが、こちらの方も回収数が非常に少なく、内容につきましてはそれぞれの図書館にアンケート箱を設置いたしまして、市内の図書館7館のうち、どこの地域によって利用があるかということを確認するために、例えば中央図書館であれば市内のどちらの地域から主に来られるのかということを中心に、アンケート調査を実施いたしました。アンケート調査そのものについて回収数が非常に少ないという問題点があり、いわゆる統計調査として信憑性が非常に低いという問題点がありますので、そのままそれをストレートにという訳にはいきませんが、回収した内容におきましては基本計画に反映させていきたいと思っております。内容につきましては今手元にはないのですが、今申しましたように動線調査であるとか、例えば蔵書であるとか、開館日数、開館日等についてどの程度満足されているかといった内容について調査しております。以上でございます。

波佐間清(教育長)

よろしいですか。他にご意見ございましたら。はい、どうぞ。

児玉典彦(教育委員)

1番人口が密集している川中、勝山、安岡地区に図書館がありません。図書館を建てることは財政的に苦しいとは思いますが、今ある施設を上手く利用して、市民が図書館で本を読めるような環境を作ってもらえればと思います。以上です。

波佐間清(教育長)

はい。ありがとうございます。北部地区に図書館ができると1番良いわけですが、そのあたりのことも検討してほしいという委員さんのお願いでありました。他にございますか。よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それではないようですので、これについては報告済みといたします。

【報告事項】

下関市立美術館の開館時間の変更について

波佐間清(教育長)

続きまして、「下関市立美術館の開館時間の変更について」お願いをいたします。美術館。

中村美幸(美術館長)

美術館でございます。よろしくお願いいたします。「下関市立美術館の開館時間の変更について」ご報告いたします。11ページをご覧ください。下関市立美術館の設置等に関する条例第3条第2項の規定に基づき、開館時間を変更いたします。この度は開館時間の延長でございます。変更日は平成29年11月25日土曜日と翌26日日曜日の2日間、午後9時まで開館いたします。理由は、両日、長府地区で夜間イベント「彩の城下町長府秋2017」が開催されるため、それにあわせ夜間開館を行うものでございます。以上、ご報告いたします。

波佐間清(教育長)

はい。美術館の開館延長ということでの報告がございました。ご意見がありましたらお願いします。藤井委員さん。

藤井悦子(教育長職務代理人)

昨年も延長されたと記憶していますが、来館者数は増えたのでしょうか。

波佐間清(教育長)

美術館長。

中村美幸(美術館長)

昨年、初めて歴史博物館の開館にあわせて美術館も夜間開館を行いました。昨年はまだ認知度が少なかったものですから、10人くらいの増にとどまっておりましたけれども、今後続けて認知度を上げて、また色々イベントを考えまして、入場者の増につなげたいと思っております。

波佐間清(教育長)

はい。認知度をしっかり上げていただければと思います。

【報告事項】

下関市立歴史博物館の開館時間の変更について

波佐間清(教育長)

続いてお願いしたいと思います。はい、館長さん。

町田一仁(歴史博物館長)

歴史博物館でございます。12ページでございますが、美術館と同じ理由でございまして、11月25日土曜日、11月26日日曜日に開館時間の変更、夜間開館をしたいと思っております。理由は「彩の城下町長府秋2017」の開催にあわせてということでございます。博物館の方は昨年キャンドルナイトの中心に近い辺りでございますので、開館したばかりということもありましたが、数百人のお客様に来ていただきました。

波佐間清(教育長)

はい、ありがとうございます。昨年、歴史博物館はオープンしたばかりで、「彩の城下町長府」ということがありました。あの辺り、ちょうど紅葉シーズンですので、散歩がてら多くの人が行ったのではないかなと思っています。何かご意見ありますか。よろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

はい。それでは、報告事項も一応全て終わりました。

【その他】

波佐間清(教育長)

その他で何かございますでしょうか。はい、文化財保護課。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

文化財保護課でございます。お手元に「ミュージアム・コンサート in 考古学 2017」というチラシをお配りしているかと思えますけれども、考古博物館におきまして、11月12日日曜日まで「特別展 遙かなる音の世界」を開催しておりますが、「音」にちなみまして、お配りしましたチラシのように、考古博物館におきまして、10月22日日曜日及び11月5日日曜日にコンサートを開催いたします。10月22日は下関南高の箏曲および梅光学院大学のハンドベルの演奏、また11月5日は下関西高および市大の吹奏楽の演奏を予定しております。開演は両日とも1時半で、演奏時間は約1時間を予定しております。芸術の秋でもございますので、是非多数のご来館をお待ちしております。以上でございます。

波佐間清(教育長)

はい。こちらは初めてですか。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

一昨年行ったのですが、結構好評でしたので、今回の特別展が「音」にちなんでいるので、開催することになりました。

波佐間清(教育長)

吹奏楽は、ステージに入りますか。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

講堂で行う予定ですが、大人数だったら入りませんので、少し減らさせていただきます。一応、入場者を80名と予定しておりますけど、申し込み不要でございますので、是非お近くお寄りの際にはご鑑賞いただければと思います。

波佐間清(教育長)

はい。こういうコンサートがありますので、是非、皆さん方も足を運んでいただければと思います。その他何かございますでしょうか。教育委員の皆さんで何か学校訪問やその他のことでお気づきないですか。松田委員さん。

松田まさ子(教育委員)

運動会のと時の話ですけれども、種目で借り人競走という競技がありました。札を取った子がサングラスをかけている人、帽子を被っている人、△△町に住んでいる人、卒業生、先輩と読み上げていました。そして、それらの方と一緒に万歳をして走ったり、スキップをするという競技なんですけど、観戦者も楽しめて、子供達も走り回って右往左往しながら、その種目がとても面白かったです。あと、午前中の最後の部のリレーの時に、波佐間教育長さんが良いタイミングで来られて、お孫さんが頑張ってリレーを走られていました。もう1つ、完食指導の話ですけれども、うちの子達が懇談に行くと、担任の先生から「松田君はいつも給食を全部食べて、お友達の分も食べて完食している」とよく褒められました。担任の先生というのは、学校の給食を空になって返すというのが凄く嬉しいんだろうな、というのはとてもよくわかるんですけれども、最近是最初につく時に自分が食べれる量だけでいいみたいで、私はやはり小さい時の思い出として、掃除の時間が始まって泣きながら食べてる隣のクラスの子をよく見ていたので、そういうことは食に対してイメージも悪くなるし、辛かっただろうな、ということをよく覚えているので、そういう指導は気をつけていただきたいと思います。以上です。

波佐間清(教育長)

はい、児玉委員さん。

児玉典彦(教育委員)

完食指導は、確かに行き過ぎてはいけないと思いますが、子供達の味覚を育てるためにも、しっかりと食べるように指導してほしいなと思います。あと、泣くまで食べさせることはやめてほしいと私も思いますが、是非、たくさん食べるような指導を上手くやってほしいなと思います。以上です。

波佐間清(教育長)

完食指導、給食を楽しく、美味しく、味わって食べるということが基本であると思っています。行き過ぎた指導はしないということが第一ですが、松田委員さんもおっしゃいましたが、自分が食べれる量をついでもらって、それを完食していくということで、たくさん食べられる人に後からたくさん食べてもらう、そういうことも含めて学校保健給食課の方、よろしくお願ひしたいと思っています。

それでは、他にないようでしたら次回の日程ですが、10月の教育委員会の定例会は、10月31日火曜日9時半から当教育センターで開催をする予定であります。委員の皆様よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それではよろしくお願ひをしたいと思います。

【閉会の宣告】

波佐間清(教育長)

それでは、本日の議事はすべて終了いたしました。以上で定例会を終了いたします。お疲れでございました。

(お疲れ様でした)

署名

教育長

署名委員

署名委員

作成職員